平成30年度　第１回事業評価監視委員会　審議案件一覧（再評価）

資料１

番号	審議区分	県名	事業名 ［ ］は事業延長	前回評価年度 【 】で前々回評価年度を記載している事業は、前回評価で前々回の費用便益分析結果を用いた事業 （ ）は今回再評価理由	車線数	開通済み延長の変化（H30.4時点）		事業費の変化		事業期間の変化		計画交通量の変化		費用便益比の変化				H31年度以降開通予定（H30.4時点）	対応方針（原案）
														全体		残事業			
						前回	今回 ※H30予定含む	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差		
1 （資料3-1）	重点	秋田	日本海沿岸東北自動車道 能代～小坂 一般国道7号 二ツ井今泉道路 ［4.5km］	H29 （社会情勢変化）	2/2	0.0km	0.0km	150億円	235億円 【＋85億円】 ○重金属対策の追加 ○重金属対策に伴う縦断変更	10年 H24～H33	10年 H24～H33	（一体） 12,100台/日 ■推計：H17OD第2段階改善 （個別） 12,600台/日	（一体） 11,800台/日【-300】 将来OD変更による減少 ■推計：H22OD （個別） 12,200台/日	（一体） 2.3 （個別） 1.4	（一体） 1.9 【-0.4】 事業費の増加によるB/C減少 （個別） 0.93	（一体） 3.3 （個別） 2.4	（一体） 2.2 【-1.1】 事業費の増加によるB/C減少 （個別） 1.5	－	事業継続
			日本海沿岸東北自動車道 能代～小坂 一般国道7号 鷹巣大館道路（Ⅱ期） ［5.6km］	H29 （社会情勢変化）	2/2	5.6km （完成２）	5.6km （完成２）	270億円	270億円	14年 H19～H32	14年 H19～H32	（一体） 12,100台/日 ■推計：H17OD第2段階改善 （個別） 11,900台/日	（一体） 11,800台/日【-300】 将来OD変更による減少 ■推計：H22OD （個別） 11,500台/日	（一体） 2.3 （個別） 2.9	（一体） 1.9 【-0.4】 事業費の増加によるB/C減少 （個別） 2.5	（一体） 3.3 （個別） 8.8	（一体） 2.2 【-1.1】 事業費の増加によるB/C減少 （個別） 10.8	－	事業継続
2 （資料3-2）	重点	福島	（復興支援道路） 東北中央自動車道 相馬～福島 ［約45km］	H29 （社会情勢変化）	2/2	27.5km	27.5km	2,065億円	2,077億円 【＋12億円】 ○道路法面変状対策 ○発生土の安定処理	10年 H23～H32	10年 H23～H32	10,500台/日 ■推計：H17OD第２段階改善	9,400台/日【-1,100】 将来OD変更による減少 ■推計：H22OD	1.1	1.02 【-0.08】 交通量の減少によりB/C減少	2.2	5.2 【+3.0】 投資によるCの減少によりB/Cが増加	■相馬～相馬西（6km）H31 ■霊山～福島 ・霊山～福島保原線（7.4km）H32 ・国道4号～福島北JCT（2km)H32	事業継続

※第２段階改善：平成25年度から反映。各交通分野毎に推計していた分布交通量（ＯＤ表）を統合して推計（将来交通量推計が過大にならないように、全国統一で２段階で改善）